

ひとと空間を科学する

topic
1

在学生在学外で賞を受賞しました！

name

住居学科4年 葉袋研究室

矢野 瞳 さん

title

外暮らシティ

Comment

このコンペは、2025年大阪・関西万博「大阪ヘルスケアパビリオン」で展示される3DCG映像等の原案を提案するもので、未来の住宅や生活やコミュニティのあり方を考える必要がありました。そこで私は、従来の家族観やジェンダーにとらわれない人々が、進歩したテクノロジーを享受しながら、生活する土地の地形や自然環境と結びついて創造的に暮らす「外暮らシティ」を提案しました。住居学科では、生活者視点から建築や都市を学ぶ機会が多かったため、4年間この住居学科で学んで考えてきたおかげで今回このような賞をいただくことができたと思っています。今後もこの賞に恥じないように、精進します。

name

住居学科3年 宮研究室

武田 恵実 さん

title

街とくらす、21人のための家

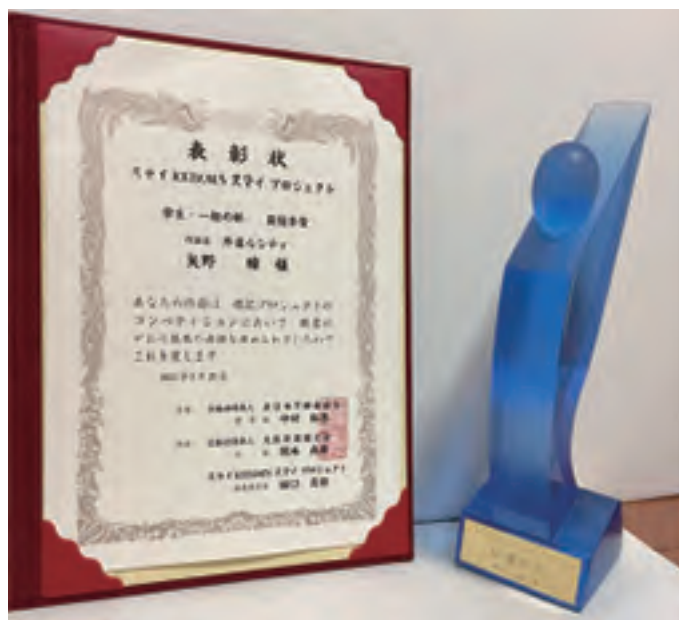
Comment

敷地である雑司が谷の細い路地に溢れる、住民の内面を映し出す「物」に着目。住宅内に作り出される入角に自分の領域を感じ、物によってテリトリーを広げていく。住宅を構成する屋根・構造壁から住民の所有物まで多様なスケールが一体化し、どこまでが建築で物かという境界をなくす。

物という人に近い小さなスケールから暮らしは始まっていくこと、人と建築の連続性とその境界を考えながら設計を行いました。

ミライ REBORN スマイ プロジェクト
学生・一般の部

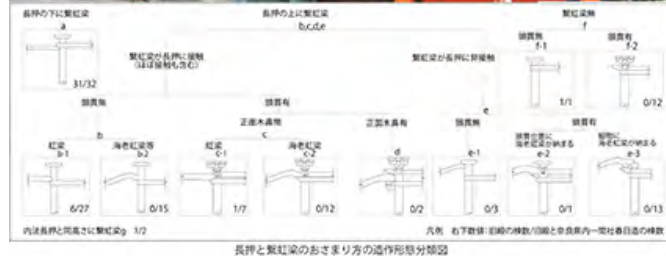
最優秀賞

第23回住宅課題賞2023
審査員 青木淳賞

卒業生が日本建築学会にて若手優秀発表賞を受賞しました



日本建築学会大会 学術講演会
建築歴史・意匠部門



name 2022 年度大学院卒 是澤研究室

豊田 円 さん

title 春日大社旧殿にみる内法長押と繋虹梁との関係
奈良県内一間社春日造との比較

Comment 春日大社は式年造替により旧殿を、ゆかりの土地に数多く下賜したことが知られている。本稿では奈良県内の一間社春日造と組物及び細部装飾、そして身舎の内法長押と向拝の繋虹梁の納まりについて比較することで旧殿の特性について検証を試みた。

その結果、内法長押と繋虹梁の納まり方の造作を、内法長押に対する繋虹梁の設置位置と、頭貫及び木鼻の有無で7種類に分類することができた。そこから旧殿には、内法長押の下に繋虹梁が納まるという顕著な形態的特質がみられた。



日本建築学会大会 学術講演会
都市計画部門

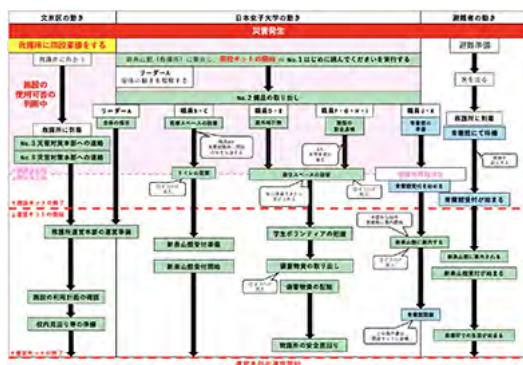
平田研究室の継続研究「市民の防災力向上に向けて」

name 2022 年度学部卒 平田研究室

磯村 栞 さん

title その95 文京区の大学設置型妊産婦・乳児救護所における初期開設キット開発

Comment



name 2022 年度学部卒 平田研究室

小池 優芽 さん

title その96 文京区の大学設置型妊産婦・乳児救護所開設に向けた学生ボランティア協働計画の策定

Comment



日本女子大学は文京区より、妊産婦・乳児救護所に指定されている。災害時には多くの避難者が見込まれているが、具体的な運営方法や開設準備が整っていない。文京区より納品された開設キットを用いて災害当日に参集する職員による訓練を実施したところ、本学の実情を踏まえた開設キットになっていないことが明らかとなった。

訓練を踏まえ、災害発生から時系列に避難者の行動を予測し、職員の作業の流れを整理し、本学の実状に沿った開設キットの改訂を行った。

本学は妊産婦・乳児救護所に指定されているが、運営計画・準備の中では人手不足が懸念されており、解消が急務である。救護所の初動期運営をより円滑なものとするため、大学生協働型の人的支援に関する研究を行う。

本研究では、災害発生から救護所が運営開始するまでの全体の流れを整理し、本学の実情を踏まえ、発災初期と運営の2段階の学生ボランティア協働計画を立て、これらを反映した妊産婦・乳児救護所の初動期運営計画を提案及び学内周知のための動画を作成した。

